

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業			中事業	11	春江坂井学校給食管理事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		春江・坂井学校給食センター
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	学校給食法、学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市総合計画、坂井市教育振興基本計画、坂井市食育推進計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	270,937	269,391	268,694	1,546
	人件費	133,139	150,256	142,246	△ 17,118
	総事業費	404,076	419,647	410,940	△ 15,572
人員	正職員	15.00 人	16.00 人	17.00 人	△ 1.00 人
	臨時職員	18.37 人	20.97 人	19.45 人	△ 2.60 人
	人員計	33.37 人	36.97 人	36.45 人	△ 3.60 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	186,038	185,275	192,294	763
	一般財源	218,038	234,372	218,646	△ 16,335

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】
 中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関・兵庫）、保育園2園（春江・春江東）の計11施設に給食を提供する。

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕費、賄材料費等） 237,548千円
- 役務費（通信運搬費、手数料、保険料） 1,749千円
- 委託料（施設整備等各保守点検委託、配送業務委託等） 31,193千円
- 使用料及び賃借料 83千円
- 備品購入費（施設給食備品） 358千円
- 負担金 6千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	地場産食材使用率	%	目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
			実績		60.9	54.8	57.6	41.2
			達成率(%)	0.0	121.8	109.6	115.2	82.4
指標の説明		地場産使用品目を数量（kg）にて、全体の使用量との割合で計算する						
指標	地場産食材を使った加工品	件	目標	12	12	12		
			実績		21	18		
			達成率(%)	0.0	175.0	150.0	0.0	0.0
指標の説明		地場産食材を使った加工品目数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	地場産食材を中心とし、安全で美味しく栄養バランスのとれた給食の提供に努めました。地場産食材の使用については、農業関連業者等との連携や献立の工夫により使用率向上につなげました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	効率性に課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・地産食材は、気象条件等に左右されるため数量の確保が難しく、安定した需要を見込めないのが現状であり、質と量を確保する体制について検討する必要があります。 ・施設開設後6年が経過し、施設設備や調理機器等に修繕箇所(部品交換等)が見受けられるようになってきています。 			
これまでの見直しや改善等の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産の食材を中心とした新たな献立を取り入れるなど、安全で美味しい学校給食を提供しました。また、農業関連業者等と連携をとることで積極的に地産地消および食育に取り組みました。 ・施設備品等の修繕については経費がかかり始めているため、現状維持できるよう取組んでいくことを周知徹底しました。 		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	春江坂井学校給食センター管理事業 春江・坂井	改善（見直し）	三国学校給食センターの新設に伴い、配送先を含め、より効果的・効率的な学校給食の提供とセンター運営に取り組みます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	方向性の理由	三国学校給食センターの新設に伴い、配送先を含め、より効果的・効率的な学校給食の提供とセンター運営に取り組みます。
目標年度	令和2年度			
中長期的な方向性		継続		
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					